

第 13 回杉並区立杉並第五小学校・若杉小学校統合協議会議事録（要旨）

会議名	第 13 回杉並区立杉並第五小学校・若杉小学校統合協議会
日 時	平成 19 年 1 月 29 日（月）午後 3 時～午後 5 時 00 分
場 所	若杉小学校 会議室
出席者	統合協議会委員 19 名（2 名欠席）
事務局	5 名（学校適正配置担当課長、学務課長、学校適正配置担当係長、学事係長、担当職員）
傍聴者	0 名
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 統合新校の校名について 2 今後の進め方について 3 そ の 他
資 料	資料 1 第 11 回統合協議会 委員投票結果 参考資料 統合新校の校名について（インターネット検索による） 参考資料 杉並区立小学校 校庭面積一覧
今回決定した事項	統合新校の校名について <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 11 回統合協議会で絞り込んだ 13 種類の校名案を対象に、出席委員による 2 回の投票を行った（1 回目は各委員 3 つまでの複数投票、2 回目各委員 1 票投票）。 ・ 2 回の投票の結果、統合協議会は、「天沼小学校」を校名候補として決定する。 ただし、これまでの検討の経緯と、「天沼わかば」という名前が「天沼」に匹敵する支持を得たことを付して、教育委員会に提案する。

<会長>

第13回杉並区立杉並第五小学校・若杉小学校統合協議会を開催いたします。
議事に入る前に、前回の建設検討部会で、他の学校の校庭面積との比較についての意見がありました。このことについて事務局から説明を受けます。

配布資料の説明<事務局：学校適正配置担当課長>

[参考資料 杉並区立小学校 校庭面積一覧]

- ・ 資料には、区立小学校44校と、昨年の夏に視察した豊島区立南池袋小学校の校庭面積を掲載した。
- ・ 杉並第十小の実際の面積は、7,000～8,000㎡あるが、教育財産としての面積は資料のとおり(2,700㎡)である。残りの財産区分は公園である。
- ・ 方南小は改築中で、改築後の校庭は3,000㎡越える予定である。
- ・ 校庭面積には、運動場の面積に加えて、一定程度まとまりのある、例えば、遊具がある部分も算入している。
- ・ 面積の小さな学校は、杉並第一小、荻窪小であるが、荻窪小は移転改築する。移転後は3,300㎡位になる予定である。
- ・ 高井戸小の改築後の校庭面積は、3000㎡～4000㎡となる予定である。
- ・ 前回、建設検討部会で提示した案は2700㎡で、杉並第六小、杉並第八小、東田小、桃井第三小、高井戸第四小と同程度の面積である。

1 統合新校の校名について

<会長>

では、次第に沿って、統合新校の校名についての協議に入ります。
本日、この議題については、ある程度区切りをつけていければと考えております。

ただし、会議の進行によっては、そうではない場合もあるかもしれません。
まず、前回までの確認をいたします。

前々回(第8回)、「天沼小学校」を校名候補の一つとすることを当協議会で確認しております。

前回(第11回)、委員投票を行いました。一人5候補までの投票をした結果は、資料1にあります。

まず、事務局から配布資料の説明を受けます。

配布資料の説明＜事務局：学校適正配置担当係長＞

[資料1 第11回統合協議会 委員投票結果]

[参考資料 統合新校の校名について（インターネット検索による）]

- ・ 参考資料は、前回の委員投票の結果、1票以上の得票があった校名案について、単にその文字をインターネットで検索し、該当があったものを掲載した。あくまでも参考としてご覧いただきたい。

<会長>

前回の話し合いでは、複数の得票があったものを基本に協議し、投票によって絞り込むということでありました。

前回欠席された委員の中には、1票しか得票がなかったけれども、是非、その校名案を推したいという考えや、出席された委員の中にも、そのような考えを持たれた方がいらっしゃるかもしれません。

基本的には、2票以上の得票があったものを絞り込む、そのためには投票をすることとしておりましたが、方法論を含めて、ご意見をいただきたいと思えます。

<委員>

前回、「杉の子」は少し幼いのではないかという意見がありました。参考資料の中にも、幼稚園が多く、校名としてはどうかと思います。

「天心館(テンシンカン)」は、言葉の意味はわかりますが、語感からは中華を連想してしまい違和感があります。

「杉杉(サシサシ)」は、他に使われている例が非常に多いことと、「悠(ハカ)」も同様ですが、子どもたちが読めるのだろうかと思います。

前回は意見としてあげられたことではありますが、これらのことを考えました。

<会長>

前回出された意見を総括してお話いただきました。皆さんの合意が形成されるようであれば、協議の上で候補から外す考え方もあるのではないかと思います。「杉の子」「天心館(テンシンカン)」「杉杉(サシサシ)」「悠(ハカ)」について、他に

ご意見はありますか。

<委員>

保護者会の際に、クラスのお母さん方にご意見を伺ったところ、思いのほか、「杉の子」という意見が多くありました。そのことをお伝えしておきます。

<会長>

若杉小の保護者会で校名の意見を聞いたところ、「杉の子」が一番多かったということでしょうか。

<委員>

「天沼」が1番、「若葉」が2番、3番が「杉の子」でした。「天沼若葉」を合わせると「若葉」が一番多かったです。

<会長>

保護者会では、「杉の子」が3番目に入るほどの意見があった、という情報提供でした。

「杉の子」は今の段階で候補から除くことはせず、検討の対象として継続したいということでしょうか。他に意見はありますか。

<委員>

私は、上荻地域の方々の心情を推測すると、「天沼」という名称にどのような印象を持たれているのか、少し気になっていました。

しかし、前回、委員から、「天沼」がよいとおっしゃられましたので、それほど、こだわっていらっしゃらないのかな、とも思いました。

先ほど、PTAのアンケートでも「天沼」が多かったということですので、「天沼」という名称に対して深いこだわりは感じていらっしゃらない、と判断してよろしいのでしょうか。

<委員>

アンケートの方法として、一覧表を出して、二つの線を引いてくださいとしました。そうすると、「天沼」に一本引いて、もう一本を他の名前に引くという

方が多かったように見受けられました。

<委員>

前回、一人5票という複数投票をしましたが、私は「天沼」を一つしか書きませんでした。

そうすると、「天沼」に対する思いというものが計量的に出ていないのではないのでしょうか。私は「天沼」を五つ書きたかったのです。

その名前に対する思いというものが計量的、数値的に出るような投票の仕方を考えていただきたいのです。

校名案の募集結果を見ますと、「天沼」は圧倒的な数でした。これまでの間、児童からの応募枠をとの意見もありましたが、児童の皆さんからも「天沼」に票が集まっています。子どもたちも、現在の「杉並第五」「若杉」という校名にこだわりがあり、それを加えると3分の2位の数になります。1票の重みを考えなければと思いました。

昔のことにとらわれない名前という考えもわからなくもないのですが、新しくできる学校は、自分が卒業した我が母校という思いが入った名前にしてもらいたいと思います。地域の人に、私たちの学校という気持ちを持つ名前にするべきではないかという思いがします。

先ほど、「天沼」を一つの候補とありましたが、それはどのような意味なのでしょう。複数を教育委員会に提案しなければならないのでしょうか。「天沼」の他に幾つか新しい名前を出す、そのために検討しているのでしょうか。そこがわからなくなっていました。「天沼」以外に出そうというので前回、一人5候補まで投票されたのですか。どのように決めていけばいいのか、と考えます。

<会長>

では、今のご意見の最後のところを確認します。

「天沼」を校名候補の一つにすることは、前々回に確認した内容です。

前回（第11回）は、他にもたくさんの校名案があり、それについても十分協議をしようということでした。委員の皆さんからも、新しいタイプの学校を目指した名前を検討すべきではないか、しかし、これだけたくさんの中から検討

はできないので、絞り込む。それが一つになるのか、二つになるのか、あるいはゼロになるのかわかりませんが、絞り込む中で検討していくということだと認識しております。

最終的に、検討したけれども「天沼」に匹敵する名前はなかったため、「天沼」一本で教育委員会に提案することもあるでしょう。

また、「天沼」と他の名前を提案するということも考えられます。

「天沼」を提案するけれども、他にも、これとこれは、協議の中で多くの支持を得た名前であった、そのような形での情報提供もあり得ます。

このようところが、決定に向けて話し合われてきたことだと思います。

必ず一つに絞るとか、対抗馬を出して二つにするといった、数を限定してのことではありませんでした。

委員の皆さんはいかがでしょう。

<委員>

私も、そのように認識しています。

<委員>

公募したときの「天沼」の得票数に比べて、前回の投票での「天沼」の得票数が11票というのは少ないように思いました。教育委員会に提案することを考えると、少し疑問を感じています。

これから、教育委員会に提案するに際して投票をするのでしょうか。この後、どういう決め方をするのでしょうか。

<学校適正配置担当係長>

校名の決め方について、参考までに他の区の例をお話します。

豊島区立明豊中学校の統合推進協議会の会議録を見ますと、初めに100位の校名案あり、各団体で47まで絞り込み、さらに協議会の場で複数投票を行い、19に絞り込まれました。これが1回目の絞り込みです。そこから、相応しくないと考えられる候補を削除し、16に絞り込まれています。

話し合いを重ね、最終的には、委員が3つの候補を書く1回目の投票をして、上位5候補を選び、再度、1票投票をして「明豊」と決まりました。1回目の絞

り込み投票の際には、この名前よりも順位が高い名前があったようです。

また、豊島区立朋有小学校の統合推進協議会の会議録を見ますと、話し合いを重ねたが一本化には至らず、統合協議会委員の投票でも、「朋有」9票と「時習」5票に分かれました。教育委員会には、両方の名前を提案するとともに、参考意見を付して報告をし、教育委員会が「朋有」に決めたということです。

一本化して教育委員会に提案した例と、そうではない例をご紹介します。

<会長>

先ほど、委員から思い入れの部分の話がありました。それを表すために、例えば、3票の投票権を持っていれば、3票ともに同じ学校の名前を入れるという方法もあります。豊島区の学校の例では、最終的には1票での投票で決められたということです。

考え方を整理しますと、協議会としての候補は一つに絞る、または、絞り込めない場合は得票数を付して教育委員会に報告する、若しくは、はっきりとこの名前とこの名前、3つになるかもしれませんが、それを提案する。この3つの選択肢のいずれかになると考えます。

協議会の決定の仕方は、最初からは固定せずに話し合いを進めています。

ある程度、固定して進めた方がよいのか、それとも投票の方法を確定し、その結果を待って判断した方がよいのか、ご意見を伺います。

<委員>

投票後の結果で判断することが妥当だと思います。一つに絞る、二つの候補にするということ先に決めても、投票の結果、そのようにできないことも考えられます。

投票するのかまだ決まっていますが、出た結果を見て考えるのがよろしいのではないのでしょうか。

<委員>

委員の意見に賛成です。例えば、7対5ならば二つの候補ということもあるでしょうし、10対1なら一つに絞ることも可能だと思います。

まず、投票の方法を決めて、協議会の決定は最後の結果を見て決めた方がよ

いと思います。

<委員>

校名協議も回数を重ねています。新しい学校をつくるに際して、委員の皆さんは、二つの学校の名前を使わないという大きな条件に同意しています。

名前については、まず住民の皆さんに投票していただき、結果がすでに出ています。圧倒的に「天沼」に多くの票が集まりました。この他、1票の投票も大事な意見であるということで、統合協議会で議論をしてきたという過程があります。

3回目では、各委員が自分の思う名前を投票して、意見の集約をやってきました。

ですから、どの名前がよいかを決めるのが一つ、また、その決定の方法論をどのようなすればよいのか、考えるところではあるのですが。

先ほど、委員がおっしゃったように、私は、上荻窪の地に生まれ育っています。私は、「天沼が良い」のではなくて、「天沼が良い」のです。そのような信念、考え方を持っています。

この地域には、天沼、上荻、清水、本天沼があります。昔からの行政名あり、新しい行政名もあります。統合協議会の一員として、小さな範疇ではなく大きな範疇で物事を考えて、新しい学校をつくるわけです。「天沼がよい」という私の信念は曲がりません。

なぜ、曲がらないかという点、二つの学校の共通点は天沼にあるからです。

杉並区の歴史の中で、井荻、井草、荻窪、天沼は、昔からある行政名であり、現在もある行政名です。本天沼や上荻という名は後からの名前、上荻1丁目は、元は荻窪四丁目です。昔からある歴史ある名前は「天沼」なのです。

もう一つ、地名を表す学校は、素晴らしい存在感があると思います。

新しい名前である、「さくら」「杉杉(ササノ)」「杉の子」「みらい」に希望を託すといいますが、「天沼」という新しい学校に希望を託してはどうでしょうか。

皆さん、それぞれに意見をお持ちですし、私も承知していますが、それでもやはり、「天沼が」という気持ちです。

本日の委員会で学校名を一つに絞れるものならそれでよし、これまで回を重

ねて、それぞれの名前に対する思いは重々承知のことと思います。もうそろそろ決断して、一本に絞り込んでよいのではないかと考えます。

それから、11月（第8回）の議事録に私の意見が載っています。「天沼がよい」というこの気持ちは、何回か協議しても変わりません。「天沼小学校」でも十分に未来を託せます。

すでに天沼中学校がありますので、天沼小学校ができますと、「天中(アマチュウ)」「天小(アマショウ)」という略称ができるかもしれません。「天沼小学校」で、未来を託すという目的は十分果たせると思い。私はズバリ「天沼がよい」と思います。

<委員>

委員の考えに反対ではありませんが、私は、未だに新しいイメージのものが付けられないものかと考えている一人です。

個々の委員がこだわる部分は、違って当然だと思います。

今、「この名前は、この理由だからよい」という意見が出されていますが、それは、投票なりでいくつかの候補に絞られ、それら同士を戦わせるときに、そのような協議の場があってよいと思います。

違う考えを絞るのであれば、公明正大に意見を反映させるために、投票という方法があると思います。

投票して何票ならどうする、という話が先ほどもありましたが、それは結果が出てから考えればよいと思います。

皆さんが違う意見だからこそ、絞っていくために投票してよいのではないかと考えております。

<委員>

時間も経過してきました。先ほど、豊島区の事例にありましたが、そろそろこの時点で一人3票の投票をして13種類から絞り込みをしてはどうか、そのうえで議論をして、最後に1票投票で決定をする。そのような議事進行でいかがでしょうか。

<委員>

委員の意見に賛成なのですが、「天沼」については、応募の段階から、なぜその名前がよいのかという理由がたくさん出ています。

新しさを、という意味から「尚志」「杉杉」「天心館」「若葉」が出てきていますが、これを選んでいる方から、これがなぜよいのか、聞かせていただきたいのです。

「天沼」が古くからある名前でも新しくないから、というだけとしか私には思えないのです。どうしてもこの4つの名前にかける思いが伝わってこないのです。その辺を聞かせていただきたいのです。

「若葉」は平凡だし、「天心館」は耳で聞くとどういう字を書くのかわかりませんし、その理由に「天沼を思う心、児童を育む学び舎」とありますが、よくわかりません。

「尚志」は立派な名前ですが、その意味を聞かれるくらい難しい字です。

「杉杉（ササ）」という読みは、学校では教えない字で、小学校の名前としてどうなのかと思います。

その名前を推す理由を聞かせていただいて、判断させていただきたいのです。

<会長>

13種類の校名について、それを提案された方がすべてここにいらっしゃるわけではありませんので、応援演説というのは、実際問題としては難しいのではと思います。

いろいろな思いを持つ方がいらっしゃるのは間違いありません。思いが一つになればよいのですが、協議を重ねても一つに絞ることが厳しいのであれば、やはり絞り込むための方策を取らなければならないと考えます。

つまり、一番分かりやすい方法は、投票だと考えます。

その前段階で、この名前は、こういう理由で外してよいのではないか、というものがあれば、事前に外す方法もあります。

そういったことをやってから、候補を絞り込むための投票を実施してみることが考えられます。

「天沼」は一つの候補としてあげるとしてありますので、「天沼」は除いて投票した方がよいのか、「天沼」も入れるのか、その辺のご意見も頂戴したいのですが。

<委員>

「天沼」も入れないと、全体の状況がわからないような気がします。

おそらく、どこかの時点で「天沼」はこれだけの支持、他はこれだけ支持ということが明確になってくると思います。可能性として、「天沼」が圧倒的になってしまうことも考えられますし、そうではないこともあります。投票対象に入れざるを得ないと思います。

<委員>

教育委員会に提案することを考えても、そのデータがないと教育委員会として判断ができないでしょう。私は、その名前を支持する強さが計量的に出るような投票にしてほしいと思います。

「天沼」を入れずにやっては、「天沼」とその他と比重がわかりません。「天沼」を入れて、どれだけ思いが強いのか、数値的に表せる方法ができないだろうかと思うのです。

1票であれば考えを100%集約した投票になるのですが、それだと他に対する思いは出てきません。投票権を3票与えて、同じ名前が3票でもよいし、3つ違う名前を書いてもよいとすれば、多少、数値は出るのではないかと。

<会長>

「天沼」を含める形で投票をする、持ち票が3票であれば、思いを反映できるようなシステムにしてはどうかという提案がありました。

<委員>

1カ月前（の協議会で）投票した結果が資料1に出ています。これは誰が投票したかといえば、ここにいらっしゃる委員が投票しています。その結果、こうなりましたということは、はっきりわかっています。

ですから、このときの結果について吟味して、一本に絞り込むのか、二つの案を持って教育委員会に答申するのか、その辺を決めた方が早いのではないですか。

<委員>

私は、この資料1を眺めていましたら、意外に「天沼」に人気がないと思っ

てしまったのです。

最初に申しましたが、5票もらったけれども、私は1票しか入れていません。私は5票を「天沼」に入れるべきだったと思ったのです。5票とも同じ名前を書いた人もいたのではないのでしょうか。

<会長>

おそらく前回は、同じ名前を書いたのではないと思うのです。皆さん、別々の名前に投票されたと思います。

<委員>

そうすると、私は1票しか権利を行使しなかったのです。それが、少しおかしいのではないかと思うのです。

<委員>

確かにそれはあるかもしれません。

先に委員から、前回の投票結果によって決めればよい、という意見がありました。

私が前回、結論は先に延ばしては、と申し上げた覚えがあります。

投票したのは確かなのですが、いきなりの投票でした。一応、絞られた中から考えてやった結果であっても、あの時点で結論を出すのが時期尚早と感じたのです。

前回から今日までの間、時間がありました。あの段階で、とりあえず候補はあがっていたのですが、再度考えさせていただきたい、その結果、もう一度やってもらいたいということで、先延ばしいただいたと記憶しております。

<委員>

念には念を入れてということもあります。それで結構です。

<委員>

少し余計なことかもしれませんが、私はこんな名前になったら困る、というものが実はあるのです。それには、マイナスの投票をしたい。そういう意思表示をしたいのです。仮に、「天沼」が嫌な人は、マイナス投票を「天沼」にすれ

ばいいのではないのでしょうか。

<会長>

ある程度、絞られた中で投票をすると、前回とは違った結果になる可能性もあります。

では、「天沼」まで含めた形で、前回の確認どおり、もう一度、ここで決を取っていく方向で考えていきたいと思います。

その前に、協議の中でこれはいかがというものを除くやり方は、取らなくてよろしいですか。そのまま 13 種類の中から投票するということがよろしいですか。

<委員>

気になっているのが、「若葉」が付く名前が 4 種類、「さくら」が付く名前が 2 種類、「杉杉 (ササシ)」が 2 種類あります。

例えば、「若葉」と「若葉」が付いた名前が 5 票で並んだ時に、その時点でどちらかを選ぶのか、あえて「若葉系」と言いますが、そのどちらかにするのか。同じような印象があるのですが。

ここでは「若葉」で票が分かれています、「若葉」が付いている名前は 9 票あります。漢字の「若葉」にこだわりを持って投票しているのか、「天沼」がつく「若葉」に入れているのか。

後から考えた方がよいのか、今、絞り込むために議論した方がよいのか、考えるところではあるのですが。

<会長>

実際問題として、「若葉」にするのか、「天沼若葉」にするのか、漢字にするのか、平仮名にするのか、ここでは絞り込みは難しいのではないのでしょうか。

<委員>

「若葉系」のことですが、それは後で検討すればよいのではないのでしょうか。

<会長>

例えば、「若葉系」は、一つひとつの得票数は少ないけれども、合計すれば第

3位に匹敵するだけの得票があった、そのように教育委員会に情報提供をするやり方はあると思います。

<委員>

「天沼わかば」には「天沼」が付いているのだから、「天沼系」という考えもあるのではないですか。

<会長>

それでは、ここに出ている名前は、そのまま投票するということにします。

先ほど、例として一人3票投票して、上位5つに絞り、最後に1票の投票をする、というやり方があるという話がありましたが、いかがでしょうか。

確認してから投票に入りたいと考えます。2回投票することについてはいかがでしょうか（了承）。

1回目の投票で上位5つに絞ることについてはいかがでしょう。前回の投票でも、上位5つまでが4票以上、それ以下とは2票の差がありましたので、5つに絞ることとします。いかがでしょうか（了承）。

ひとりの持ち票は3票でよろしいでしょうか。

<委員>

3票はそれぞれ別々の名前に投票してはどうでしょうか。3票は別々の名前を記載するか、他によいと思うものがなければ1票のみにして、空欄にすればよいと思います。

<委員>

前回の投票で1票しか得票のなかったものは、どうしますか。また、それ以外にあげられているものはどうしますか。

<会長>

前回、2票以上の得票のあった13種類に絞って投票することとします。

<委員>

確認ですが、3票まで投票できるが、同じ名前は複数投票しないということで

すか。

また、「若葉」系は、一つだけ投票するということなのか、別々に投票するということになりますか。

<会長>

校名という固有名詞ですので、別々に投票することにしましょう。

<学校適正配置担当係長>

今回用意しております投票用紙には、「杉並区立_____小学校」と先に3行、印字しておりますので、下線のところに入れていただくようになっています。正式校名をイメージしていただき投票していただければと思います。

<委員>

漢字の「若葉」と平仮名の「わかば」は別々に投票してよい、ということですね。

<委員>

同じ名前に投票してはいけないとなると、先ほど委員の意見にありましたように、その名前に対する思いということだけではなく、他に適当なものがないからその名前に入れる、という判断ができなくなるのです。公正にするのであれば、3票同じものを記載してよい、とならないでしょうか。

<会長>

確認いたします。一人3票の持ち票で投票すること、13種類を別々のものとして投票することとします（了承）。

同じ名前を複数投票することはせず、一つの名前のみを推す場合、それのみを記載して、残りは空欄でということになりますか。

<学校適正配置担当課長>

そうしますと、一人3票の持ち票なのに、人によっては2票が死に票になってしまいます。票差がその名前に対する思いを表さないのではないのでしょうか。

最初から一人1票、若しくは、複数投票にするのであれば3票とも同じ名前

でも可としませんと、正確に量的な把握はできないのではないのでしょうか。

<委員>

候補をたくさん出そう、というときには3票とも別々の名前を投票するのがよいかもしれません。

しかし、どれがよいか、絞り込むための投票です。同じ名前を記載してよいのであれば、1票投票でよいのではないのでしょうか。

<委員>

先に何人かの委員から意見がありましたが、13種類に絞り込んだ中でも、これはいかななものか、という考えもあるかもしれません。

しかし、この13種類の中からどれかを選んで1票を投じるのでは、この名前はいかななものか、という思いが反映されません。

委員がおっしゃったように、新しいものを考えるときには、別々の名前を記載することがよいかもしれません。

しかし、この中でどれがふさわしいか、アンケート結果を踏まえて、統合協議会の委員として、区民の意見を代弁しながら検討しているわけです。そこには、重みづけが必要になると考えます。

<会長>

会の最初に、委員から、^い思いを数量的に表す方法をとの意見があったと記憶しています。先の委員の話を含めて考えますと、13種類の中で、一人3票をどの名前に何票入れてもよいのではないか、という形になるかと思えます。

では、一つの名前に対する^い思いを表すために、その名前に3票入れることも可能としてよろしいのでしょうか（了承）。

その投票によって5つに候補を絞り込む。その後、一人1票の最終投票を行う。はじめの投票結果によっては、最終投票が必要ではない結果が出てくるかもしれませんが。そのような流れでよろしいのでしょうか（了承）。

<委員>

確認ですが、「若葉」がよい、「天沼わかば」がよい、だから「若葉系」で、

というような投票はないとしてよろしいですね。

<会長>

投票の際には、固有名詞としてすることとし、「若葉系」小学校という投票はないものとします。集計後、「若葉系」が多かった、ということは出るかもしれませんが、「若葉系」小学校という投票はないことを確認します。

<委員>

結果を見て話し合う、ということではなく、最後までどうするか決めておいていただきたいのです。結果が出てから討議するならば、その前にもっと討議した方がよいと思います。

結果が出てから、また討議しましょう、ではなく、責任ある人が出席されているのですから、決めるのなら今日決める、そうでないなら次回決める、といった方向を決めておいていただきたい。覚悟を決めて投票していただきたいのです。

<委員>

基本的にはそうだと思うのですが、出た結果によっては、一つで決めるのか、二つ、若しくは三つに順位をつけて決めるのか、別の問題があるのです。

それは、結果によって教育委員会への提案の仕方が変わってくるということで、候補が変わるということではありません。

<委員>

一つに絞っていくのか、若しくは二つに絞って教育委員会にあげていくのか、その部分の話になると思うのですが。

<委員>

投票の結果、どれかが圧倒的得票を取れば、それで決まりだと思えますし、票が分散すれば、そのような状況だということを提案することになります。

<委員>

これからやる投票結果で、過半数を取ればそれで終了する、達しなければ決

戦投票をする、それでどうでしょうか。

<委員>

私も、そこまで決めておかないと投票する意味がないと考えるのです。

<委員>

投票は、念には念を入れて2回行う、という理解なのですが、委員がおっしゃるように、議論を続けてもけじめがつかなくなります。

どこで、誰が決めたものをもって教育委員会に提案するのか、それは、ここに出席している責任ある委員がやっている協議会でのものです。

前回は投票をして、議論しました。例えば「若葉」は他の学校にもある名前であるとか、散々やりました。3回、4回と、大事なですから議論をすることも結構ですが、もうそろそろ決めて、次の段階に進むべきではないでしょうか。

投票をする前に、出た結果をどうするか、先に委員がおっしゃったように決めておいてはどうでしょうか。投票して、候補をどうするか討議すると、また、決まらなくなるのではないのでしょうか。

<会長>

投票をする前に、結果をどのように判断するか確認していきたいと思います。

3票での投票をした結果、5つの候補に絞る、という話をしました。これは、次に最終投票をして結果を出そうという前提に立ったやり方です。

もし、今の段階で、2つに絞る、ということにするのであれば、上位2つを得票数も沿えて第1候補、第2候補として教育委員会に出すことが考えられます。

今の段階で、候補をこの中から一つに絞ることは、先ほども皆さんに諮ったところ難しい、ということでした。

ですので、投票の結果によって第1、第2、第3候補として順位付けて、3つなり5つの名前を教育委員会に出すという方法も考えられるのではないのでしょうか。

まず、5つに絞り込んで、次に責任を持って一つに絞り込んで、もう一度その結果を反映するというやり方もあるでしょう。

<委員>

私は、これからやる3票投票というのは、さらに絞り込みをするためであって、最終的には1票で決める、そのように進むことを考えてのことでした。もし、票差が大きく出た場合、1回の投票でよいということになるかもしれません。

今日、最終的に1票で投票をして決める、その前段階として3票投票をするのだと考えていました。

<委員>

先ほど、最初に過半数を取ったという話がありました。もっともだと思うのですが、それをあらかじめ出してしまうと、実際に判断する際には、少し割り切れないと思う部分があるのです。

上位5位までに絞り込む、それからもう一度、1票投票をとということですあれば、例えば、自分が選んだ3票が5位に入っていなければ、最終的には残った5つの中であればこれがよい、というように投票するわけです。

ですので、絞られた中から最後に1票を投じる、ここで過半数を取ったということは、この会としての意思が反映される確立が高いと思うのです。

是非、投票をして絞っていただき、その結果、残った候補の中から、さらに1票を投じるやり方がよいのではないかと思います。

<委員>

その意見に賛成します。

<委員>

先ほど、第1、第2、第3候補という話がありましたが、そのように教育委員会に出したときに、教育委員の方はどのように判断するのでしょうか。

やはり得票数がないといけないでしょう。それは、思いを込めた3票投票の得票数で出てきます。そのデータを出せばよいという話であって、過半数で決めるということではありません。

過半数を取った場合、それで投票を終了する。そこで1位は何、2位は何ということを教育委員会に出す。協議会の意向はこうですということです。

<委員>

一つに決めるためには、思い切りが必要ですから、迷いがあるのです。

<委員>

(校名案を公募して) 民意ははっきりしています。協議会の意見としては、定量的な数値を出せばよいのではないのでしょうか。

<委員>

3票投票して5つに絞り込み、その段階で、不都合なことがなければ、最後に1票投票で決めてはどうでしょうか。それで、まずいことはないでしょう。

3票の段階で、ある名前が圧倒的になり、言うまでのないというケースがあるかもしれません。順を追って最終的に絞り込んだ、ということが手続き的によいのではないのでしょうか。

<委員>

5つに選択範囲を絞ってから、次の1票で、候補からはずれるということはあるのでしょうか。

<会長>

絞り込んだ範囲の中で順位の変換はあるかもしれません。

1回の投票で終わりにするのか、絞り込んで最終投票をするのか、はっきり決めてから実施したいと考えます。

<委員>

前回の最後に、「本日は3名の委員が欠席であり、全員の総意で決めるのがよいのでは」と事務局からの発言があったのですが。

<会長>

そのため、本日の会議の冒頭に、前回欠席されている方もいらっしゃいましたので、という話をしました。前回と今回、続けて欠席されている方がいらっしゃいますが、それはやむを得ないと考えます。

<学校適正配置担当課長>

校名の検討は、昨年夏から継続してやっております。前回、絞り込みを行ったということを委員の方々は十分ご承知のことと思います。

やむを得ず諸般の事情で欠席されたということですので、本日出席されている委員の皆様で絞り込んでいただくことがベストと考えています。

<会長>

1回の投票結果を反映するのか、2回の投票をして絞り込むか、それについてご意見をお願いします。

<委員>

3票での投票後、1票投票をして、最終的に決めてよいと思います。先ほど、絞り込んだ結果、1位と2位が逆転したという例があった、という話でしたが。

<学校適正配置担当係長>

明豊中学校の場合は、最終日に2回投票して決められたのですが、この2回の投票では、明豊が2回とも1位でした。それ以前の、絞り込み投票の段階では桜が1位、明豊は5位の得票でした。最終的には、それが1位になったということですが、決定に至るまでの間、協議を重ねられたということです。

<委員>

絞り込みの段階では、得票数は絞り込むための要素だと考えます。

次の段階で1票投票したときに、圧倒的に1位であったものがそうでなくなったとしても、それは結果だと思います。何票取ったということではなく、5つに絞り込むための投票に3票投票を用いるという理解です。

<会長>

2回の投票方式をとった場合は、委員の意見のとおり、絞り込むための材料ということです。

<委員>

私も、先に委員がおっしゃっているように2回投票して決めることに賛成し

ます。

<会長>

2回の投票でという意見が多いようです。他区の例でも、そのようなことであったということです。

<委員>

上位5つということですが、5位が同数、若しくは3位が同数ということもあり得ます。5位が同数であれば、6つに絞り込むことになることを確認しておきたいと思います。

<会長>

委員の発言にありましたように、5位が複数あった場合、同数のものを含めて絞り込むことを確認します（了承）。

<委員>

3位が3つあれば、そこまでということですね。

<委員>

5位が5つあれば、9つでの絞り込みということですね。

<会長>

そのようになります。

1回目の投票で出た数字は、あくまでも絞り込みのためのものですので、最終的には1票投票の数字により決めるということによろしいでしょうか（了承）。

最後の投票の結果、過半数を超える名前があれば、その1つをもって区に提案するのか、それを第一候補として、それ以外にもこのような名前に得票があったというように出すのか、そこまで決めて投票した方がよいのかと考えますが、いかがでしょうか。

5つに絞り込んだうえで、2回目の投票で過半数の得票があったということは、かなりの支持を得たと考えられるのではないのでしょうか。

<委員>

絞り込むための投票をまずやって、その結果を見て考えればよいのではないのでしょうか。

<委員>

その意見に賛成です。

<会長>

それでは、絞り込みのための1回目の投票を実施いたします。前回、2票以上得票のあった13種類を対象に投票していただきます。

— これより第1回目投票 —

<事務局>

投票結果を発表いたします。18名の委員に各3票ずつ投票いただきましたので投票総数54票です。

25票	天沼
7票	天沼わかば
5票	天沼若葉、若葉
4票	尚志、杉の子
2票	天心館
1票	天沼杉杉、天沼みらい

<会長>

第1回目の投票の結果、以上のとおりとなりました。

上位5位までを絞り込んでいくことを確認していますので、「天沼」「天沼わかば」「天沼若葉」「若葉」「尚志」「杉の子」までの6種類となります。

この6つを対象に各委員1票の最終投票を行います。その結果を見て、判断するということがよろしいでしょうか（了承）。

（ここで、欠席委員のうち1名が参加）

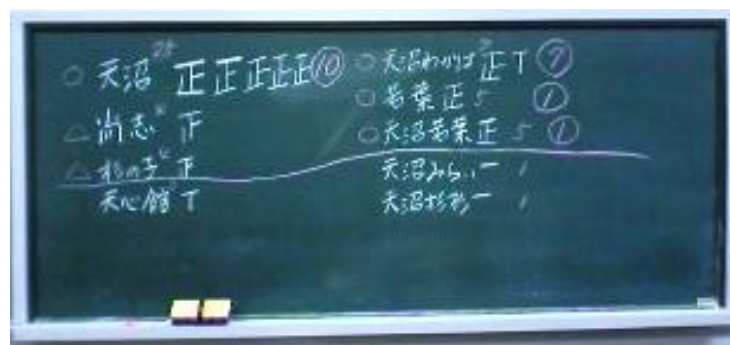
ただいま、1名委員が遅れて参られました。2回目の投票から加わっていただくことでよろしいでしょうか（了承）。

— これより第2回目投票 —

<事務局>

第2回目の投票結果を発表いたします。投票総数19票です。

10票	天沼
7票	天沼わかば
1票	天沼若葉
1票	若葉
—	尚志
—	杉の子



<会長>

最終投票の結果は、以上のおりです。票数では、「天沼」と「天沼わかば」が拮抗しています。

この結果を受けて、最終的に教育委員会にどのように提案するか、ご意見を願います。

<委員>

「天沼」が過半数を占めましたが、「天沼わかば」もそれに匹敵する得票数があります。これを客観的に教育委員会に伝えるのがよいと考えます。

1位と2位の差が小さいことと、「若葉」がつくもので括れば10対9の得票差です。「天沼」だけに絞らずに、報告すべきだと思います。

<会長>

「天沼」が10票、「天沼わかば」が7票ということから、二つを併記して報告すべきというご意見です。他に、いかがでしょうか。

<委員>

委員の意見に賛成します。

<委員>

質問ですが、「天沼」と「天沼わかば」という二つを報告する、それで決定は教育委員会に委ねるということですか。

<委員>

最終的には、議会決定ですね。

<学校適正配置担当係長>

最終的には、議会での（学校設置）条例の改正になりますが、その前に教育委員会で決定します。

<委員>

この協議会は決定機関ではありません。教育委員会は、協議会の意思を尊重されると考えます。

一つに絞るのではなく、このようになっています、というように出すのが、責任ある態度ではないかと思います。

<委員>

教育委員会が、「天沼」「天沼わかば」以外の名前にするということはあるのですか。

<学校適正配置担当課長>

この協議会として「天沼」と「天沼わかば」の二つを教育委員会に提案し、決定を委ねるということであれば、二つの中から決定するものと考えます。

ただし、この協議会として、「天沼」若しくは「天沼わかば」に一本化することになれば、それを教育委員会に報告し、教育委員会は協議会の考えを尊重することになると考えます。

<委員>

委員の考えでもよいのですが、教育委員の方が判断する際に、例えば、公募したときの民意はこうであった、絞り込みの投票をして25票得票した、そのよ

うなデータも提出していただきたいのです。

<学校適正配置担当課長>

もちろん教育委員会で決定する際には、数値データも含めて検討の経過を教育委員に示すものと考えますが、この協議会として意見を一つに絞り込めなかった、ということであれば、教育委員会に下駄を預けられたものと考えます。

両論併記で出すのか、一本化して出すのか、決めていただければと考えます。

<委員>

これだけの委員が検討してきたことですので、やはり一つの気持ちを表すべきだと思うのです。

再三再四、皆さんが考えを出し合い、前回に引き続き今回も投票し、絞り込んだ中で投票して、その結果が出たわけです。

教育委員会が決める、議会が決めるということではありまじょうが、これだけ地域の人間、それぞれの立場を代表している委員が話し合い、教育委員会事務局も入って議論した結果、数字が出たのです。

それであれば、一本化した名前を出す、しかし、投票の結果やこれまでのこのような経過をたどったということを書いておく、という方がよいです。名前を二つ書くよりは、一本化して出した方が筋だと思うのです。せっかく、統合協議会をやってきたわけですから。校名選定にこれだけ考えを出し合ってやってきたのです。

決定機関は別にあるかと思いますが、「天沼小学校」ということで決めて、報告事項の内容に経過、最終投票で1位、2位はこうなりましたと併記する。

併記はするが、統合協議会としては、「天沼小学校」を推すということを決断していただいた方が筋ではないかと思います。

<会長>

進行役の立場ですが、私からも考えを述べさせていただきます。

「天沼」に投票された10票という数字は、大きな意味を持っていると思います。19人で投票して、過半数を超えているということは、統合協議会の意思表示になっていると考えます。

例えば、この投票結果が8対7であれば、委員のおっしゃるとおりかと思

ますが、過半数の10を超えているということは、統合協議会としての考えが集約されている、そういう考え方ができるのではないのでしょうか。

統合協議会としては、「天沼」を第1候補とするけれども、「天沼わかば」もこれに匹敵する名前としてあげられた、という状況を添えながら、「天沼」を第1候補として推薦するやり方がよいのではないかと個人的には考えます。

皆さまのお考えはいかがでしょうか。

<委員>

私も、「天沼」が過半数を占めたという事実は伝えるべきだと思います。

けれども、それに匹敵する「天沼わかば」という名前が推されたという事実を伝えればよいと考えます。

一本化というのもわからないではないのですが、ここまで票差が接近しています。これが、15票くらい差があれば一本化と言うのですが、若葉系で括れば10対9ですから。

過半数を占めたということも事実ですし、過半数を占めたがそれに匹敵するものもあったということも事実です。それを客観的に伝えればよいと思います。

<副会長>

私は、投票の結果「天沼」が10票、「天沼わかば」が7票だった、だからどちらかを教育委員に決めてもらいます、ということと、最終的に過半数をとった「天沼」に一本化して出す、ということでは、意味がまったく違うと思います。

私は、一本化した方がよいと思います。

ここまで、皆さんで話し合ってきて、意見をまとめながらやってきたのです。みんなが一つになって一つの学校をつくります、その意思表示の仕方がまったく違ってくると思うのです。

その意味で、「天沼」という一つの名前で、出せないかと思います。

<委員>

補足させていただきます。これまで出ていた「天沼若葉」や「天沼杉杉」には、「天沼」が付いています。やはり故郷感といったものが現れていると思います。

こうして統合協議会で議論しているわけです。校名すら決まらないのものが、校舎やその他のことはどうなるのでしょうか。ケース・バイ・ケースであるかもしれませんが、こと校名については、統合協議会としてのきちんとした姿勢として、「天沼小学校」一本化を進めてはどうでしょう。

これに至るまでの経過報告として、どのようにしてこうなったか、また、第2位に「天沼わかば」があったことを併記する、これは併記事項であって、決定としては「天沼小学校」を教育委員会に提案したいと思いますし、すべきものと考えます。

<会長>

今、二つ意見が出ています。他の委員から意見はありますか。

<委員>

やはり、委員がおっしゃったように、なぜ、ここまで統合協議会で議論してきたのか、ということと、両論併記の形で教育委員会に提案しても、教育委員からは、現場の本音はどうか、という話になると思うのです。

校名案の募集結果であるとか、他区市の様子からしても、「天沼小学校」で提案することが一番よいと思います。

「若葉」というのは全国にある名前でも、はっきり申し上げて、この地域の子どもたちが誇りを持てるのかな、という気もします。あくまでも個人的な意見ですが。

<会長>

会長としましては、今日の協議をもって校名については一区切りとしたいと考えます。最終段階にきていると思いますので、今日中に確定したいと考えております。

もし、意見がまとまらないようであれば、民主主義の論理をつかっていくしかないのですが。

<委員>

校名募集をした結果、民意としてのデータからも「天沼」という名前は圧倒的に多く別格でした。

それでは「天沼」を提案します、というだけでは、それ以外の名前への思いを反映できないのではないかと、そういうことから、対抗馬として他によいものはないのか、ここ3回くらいそのことを話し合ってきたと思うのです。「天沼」の他にもよい名前が出せたらよいのではないかと、ということで話し合いを続けてきたと思うのです。

一本化して提案することとはよいのですが、明確に、本日のデータは出していただきたいと思います。

<会長>

先ほどから他の委員から出ていますように、一本化して出そうという意見の中にも、委員の意見の主旨は、反映されてくると思います。

<委員>

そうしませんと、ここ2、3回の話し合いが無駄になってしまいます。

<委員>

公募した結果、「天沼」が圧倒的だったのですが、新しい名前を考えた結果、若葉系が健闘した、そのようなニュアンスで出していただければよいのです。

委員の意見に、得票数が過半数を超えたとありましたが、若葉系の得票数も健闘しています。それに触れないわけにはいきませんから、新しい名前も十分検討したのだ、というニュアンスを出していただければよいのではないのでしょうか。

<会長>

他に意見はありますか。

よろしければ、この統合協議会としては、「天沼小学校」という校名を提案してまいります。

ただし、検討の経緯を十分に伝えることと、最後まで「天沼わかば」という名前が「天沼」に近い得票数を得たこと。ここに至るまでにはいろいろな意見が交わされたという事実を付けて、教育委員会には「天沼小学校」で検討していただきたい、という提案をしてまいりたいと思いますがよろしいでしょうか。

<各委員> 一拍手により承認

<会長>

長時間の協議に感謝いたします。新校の名称は「天沼小学校」という名前一本で提案させていただくという形に決定いたしました。

これまでの経緯を添付していただき、十分説明をいただきたいと思います。

2 今後の進め方

<会長>

それでは、今後の進め方について事務局からお願いします。

<学事係長>

次回の予定に入る前に、前回、学校等での事故発生状況について質問がありましたのでご説明いたします。自らが転んだ場合と、自転車、自動車による交通事故はどれくらいあったかというご質問でした。

16年度は11件、17年度は1件が交通事故となっております。自動車か自転車かの区別はつきません。

<学校適正配置担当課長>

今回は、建設検討部会として2月19日（月）午後3時から若杉小学校にて開催します。校舎建設についても、方向性を決める段階にきております。

南側に校庭を配置し、1階に教室を置く場合の案を検討しておりますが、近隣に対する影響が懸念されます。北側の住宅に影が落ちることになりますので、それを避ける形の案はできるか検討しております。

また、1階に校務センター、こだま学級、普通教室を6教室、保健室を配置することは難しく、場合によっては、校務センターを2階に配置することも考えます。この場合、安全性の面でどうか、ということになります。

今回は、広い校庭を取りつつ、子どもたちの教育環境をどのように豊かにしていくかという考えの基に、どこに価値基準を置くかということになると思います。どこに教室、校務センター、保健室を配置するか、そのあたりが論点になるかと考えます。

次回、おおよその配置を決めていただければと考えております。

案をつくりまして、場合によっては事前に送付して、お考えいただければと思います。

次々回ですが、3月16日が建設部会の最終予定となっております。

この回で、校舎建設についてまとめをと考えております。

2月は建設検討部会のみで開催にして、3月に統合協議会全体としてのまとめとさせていただきたいと考えております。

これから来年度の予算を議会の場で審議することとなりますが、若杉小学校の校舎の改造経費を見込んでおります。どこをどう改造するのか、といった点も含めてお話させていただければと思います。

校名につきましては、一本化されたということと、そこに至るまでには様々な議論があったということ、これは十分受け止めさせていただきたいと思えます。

また、「若葉」という名前に対する思いも、強いということがありましたので、例えば、校章、校歌を作る際に「若葉」という思いを活かす方法があるのではとないかと考えます。

来年度は、校章や校歌を考えていかなければなりません。引き続き統合協議会の場で検討いただきたいと思います。

<会長>

これで本日の統合協議会を閉会いたします。長時間に渡りありがとうございました。